

令和6年度版「小学道徳 生きる力」年間指導計画案5年

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	評価の視点 (具体的な見取りのポイント)	他教科等との関連		
4月	1	のび太に学ぼう	D	よりよく生きる喜び	幸せのヒント	人には弱い部分があるが、それでもよりよくなるという思いをもっていることに気づき、人間として生きる喜びをもとうとする心情を育てる。	○「よりよく生きる」ことについて考えましょう。 ○のび太はどんな子ですか。 ○のび太はどのように生きたいと思っているのでしょうか。 ○のび太の生き方から自分の生き方を考えてみましょう。 ○よりよく生きることの喜びについて、教師の思いを語る。	☆よりよい生き方について自分なりに考えようとしているか。(道徳ノート・発言) ☆人は弱い部分があると同時に、よりよくありたいという思いを抱くことができることに気づき、人間として生きる喜びを感じようという気持ちをもつことができたか。(道徳ノート・発言)	
	2	あいさつの心	B	礼儀	あいさつのもつ力	挨拶は、声に出したり態度に表したりすることで、互いの心を明るくし、人と人との結びつきを深いものにすることを理解し、礼儀正しく真心をもって生活しようとする意欲を育てる。	○挨拶をするときに気をつけていることはどのようなことですか。 ○「ぼく」が「挨拶運動」に感じていた疑問は、どんなことでしょうか。 ○元気に挨拶をする幹太さんに対して「自立ちたがり屋だ」と言うのは、どんな思いからでしょうか。 ○「もう一度、あいさつ運動をしよう。」と学級会で提案する「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○気持ちのよい挨拶をしたり、相手に礼儀正しくしたりすることのよさは、どんなところにあるのでしょうか。 ○挨拶には形と心の両方が必要であることについて話す。	☆挨拶をしなくなった「ぼく」の思いを捉えつつも、それではいけないと考える「ぼく」が気づいたことを考えているか。(道徳ノート・発言) ☆心のこもった挨拶の意味について、自分の経験も振り返りながら考えているか。(道徳ノート・発言)	
	3	マンガ家 手塚治虫	A	個性の伸長	たいせつな自分らしさ	自分の好きなことや得意なことを続けたり、努力したりすることが、自分の長所を伸ばしていくことに気づき、自分の長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。	○手塚治虫さんを知っていますか。 ○マンガをかくことに劣等感を感じていた手塚さんは、乾先生に「君はおおいに自分のよさをのばさない。」と言われて、どんな気持ちになったのでしょうか。 ○お母さんに「マンガが好きならマンガ家にならなさい。」と言われた手塚さんは、どう思ったのでしょうか。 ○手塚さんがマンガ家が続けられたのは、どんな思いがあったからなのでしょう。 ○自分のよさを伸ばすために、どんなことを大切にしたいですか。 ○教師自身が自分の短所を見つめ、改善していった経験を話す。	☆個性を伸ばすことが簡単なことではないことを理解したうえで、個性を伸ばしていくことの大切さに気づいているか。(発言) ☆自分の個性を見つめ、それを積極的に伸ばそうとする気持ちを高めることができたか。(道徳ノート)	
5月	4	やさしいユウちゃん	B	親切、思いやり	相手のための親切	時には言いにくいことも言うユウコの姿から、相手の成長など相手の立場を考えて行動することがやさしさには大切であることに気づき、相手の立場になって、進んで親切にしようとする心情を育てる。	○「やさしさ」について考えてみましょう。 ○ユウコはどのような気持ちで、いつもハルカを助けているのでしょうか。 ○ユウコが「わたしは別の委員会に行くね。」と思いついて言ったのは、どんなことを考えたからでしょうか。 ○人に親切にするときに大切にしたい気持ちとは何でしょうか。 ○自己満足の親切と相手のことを考えた親切の違いについて、教師の考えを話す。	☆相手の立場から親切について深く考えているか。(発言) ☆自分との関わりの中で、相手の立場を考えて親切にすることの大切さについて考えを深めているか。(道徳ノート・発言)	
	5	「命」	D	生命の尊さ	限りある命	限りある命を精一杯生きる由貴奈さんの姿から、生命はかけがえのないものであることを自覚し、限りある命を精一杯生きていこうとする心情を育てる。	○「かけがえのない命」と聞いて、どんなことを考えますか。 ○由貴奈さんの詩を読んで、印象に残っているところはどこですか。 ○由貴奈さんがこの詩を通して伝えたかったのは、どのような思いでしょうか。 ○由貴奈さんにとって、「せいっぱい生きる」とは、どのような生き方でしょうか。 ○あなたにとって、「せいっぱい生きる」とは、どのように生きていくことでしょうか。 ○教師の「限りある命」を感じた経験について話す。	☆「諦めずに最後まで」「生きている時間を大切に」のように、精一杯生きるということの具体化した記述や発言がみられるか。(道徳ノート・発言) ☆「限りある命だからこそ」のように命の有限性を感じたり、「自分にできることを」のように自分の生き方に結びつけて考えたりしているか。(道徳ノート)	特活 (学級活動)
	6	ソフトボールに恩返しを —上野由岐子—	B	感謝	感謝の思い	支え合いや助け合いという人と人とのつながりや、自分もそのつながりの中に存在していることを理解し、感謝の心をもって自分ができることで応えようとする態度を育てる。	○日々の生活の中で、感謝の心を感じたのはどんなときでしょうか。 ○大好きだったはずのソフトボールが楽しくなくなったとき、上野選手はどんな気持ちになっていたのでしょうか。 ○監督から「ソフトボールに恩返しをしろ。」と言われた上野選手は、ソフトボールにどんな恩があることに気づいていったのでしょうか。 ○ソフトボールに恩返しをしながら、上野選手自身が得た大切な心とは何でしょうか。 ○自分はどのような人に支えられているのでしょうか。また、どのように恩返しできるのでしょうか。 ○教師自身の今があるのは、両親をはじめ、いろいろな人のおかげであることをしみじみ感じ、感謝の念を強くしているという話をします。	☆今まで多くの人に支えられてきたことに気づき、恩返しをしたという上野選手の気持ちを理解できたか。(発言) ☆自分がお世話になっている人がいることに気づき、どのように感謝の気持ちを伝えたいか考えることができたか。(道徳ノート・発言)	体育
6月	7	サタデーグループ	C	勤労、公共の精神	ほうしの心	サタデーグループの活動を通して、働くことがみんなの役に立っていることを理解し、そのことに喜びを感じて誇りをもって社会に貢献しようとする心情を育てる。	○学校や家の仕事に、どんな気持ちで取り組んでいますか。 ○5月の第1土曜日に中町公園の掃除を終えた「わたし」は、どんな気持ちになったのでしょうか。 ○英子さんの「週に一回、そうじをしない？」という話に、仲よし4人が賛成したのはどんな思いからでしょうか。 ○毎週掃除が続けられたのは、みんながどんなことを考えるようになったからでしょうか。 ○自分の町や地域のために、役立つこととはどんなことでしょうか。 ○学校や地域のために役立つことをしてくれている身近な人を招き、話をしてもらおう。	☆働くことや社会に奉仕することの意義を考え、公共のために役立つこととする意欲を高めているか。(道徳ノート) ☆自分が取り組みそうな公共への奉仕について記述しているか。(道徳ノート)	総合 特活 (学校行事)
	8	ひとふみ十年	D	自然愛護	自然を守る力	自然は長い年月や人間の力を超えた大きな営みによってここにあり、自然を守ることが大切であるが、それがいかに難しいかということに気づき、自然を大切にするための判断力を育てる。	○どんなときに、自然のすばらしさを感じますか。 ○勇は山々を仰ぎながら、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○チングルマの年輪を見た勇は、どんな思いをもったのでしょうか。 ○松井さんから「ひとふみ十年」という言葉を聞いて、勇はどんなことを思っていたのでしょうか。 ○自然を大切にしたいと思ったことにどんなことがあるか、今までの経験を通して考えてみましょう。 ○教師自身が体験し感動した自然のすばらしさなどの話をします。	☆自然界の不思議さや神秘性に触れた勇の姿から、それらをさらに大切に保全していくことの重要性に気づいたか。(道徳ノート) ☆自分たちの生活の中でも、自然や動植物のことを考え、今できることから取り組むことの大切さを認識しているか。(道徳ノート・発言)	社会 総合
	9	古いバケツ	B	友情、信頼	男女仲よく	男女関係なく、お互いの信頼をもとに理解し合うことで、それぞれのよさに気づくことができることを理解し、お互いのよさを認め、支え合い、男女仲よく協力して生活していこうとする心情を育てる。	○男女で対立したり、協力できなかったりするときの原因はどんなところにあるでしょうか。 ○男子と言い争いになったあと、雑巾で床を思い切りこすっていたときの「わたし」は、どのような気持ちだったのでしょうか。 ○紀幸さんが水くみを始めたのは、どんな思いからでしょうか。 ○明るい気持ちになって男子と掃除を続ける「わたし」は、どんなことに気づいたのでしょうか。 ○男女で仲よくするには、どんな心構えをもつことが大切でしょうか。 ○男女仲よく理解し合いながら楽しく学校生活を送った体験を話す。	☆変容した「わたし」の気持ちを考えることを通じて、男女で協力することのよさや大切さについて考えを深めているか。(道徳ノート・発言) ☆自分との関わりの中で、男女で協力することのよさについて考えを深めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
10	ふくらんだリュックサック	C	規則の尊重	まずは自分から	よりよい社会を作るには、たとえ小さなことでも、誰かがするのではなく、自分が行動することの積み重ねが必要であることを理解し、進んで公共のために役立つこととする態度を育てる。	○美しい景色を見ると、どんな気持ちになりますか。 ○汚れた山を見て、「山のれいぎを知らない者は山に来なければいい。」と怒っている「わたし」は、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○父親の言葉を聞いて「ハッ」とした「わたし」の心の中は、どんな思いになっていったのでしょうか。 ○自然と口笛を吹いて下山する「わたし」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○私たちが美しい景色を楽しむためには、どのような心構えが必要ですか。 ○教師自らが、社会生活を豊かにするために日々心掛けていることを話す。	☆「規則を守る」ということは、きまりやマナーを破らないという意味だけでなく、それを守る行動を自ら進んで行うという意味もあることについて考えているか。(発言) ☆自分ができることを進んで行うことの大切さについて、自分の経験などを思い出しながら考えているか。(道徳ノート・発言)	総合 特活 (学校行事)	
7月	11	ぼくたちの夏休み自由研究	A	善悪の判断、自律、自由と責任	責任を果たす	自由であることの難しさや厳しさに気づくとともに、自由であるからこそ責任を問われることを理解し、自律的に判断し、責任ある行動をとろうとする態度を育てる。	○「自由」という言葉から、どんな印象を受けますか。 ○「楽勝だね」と言っているジュンは、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○「いっしょにやるんじゃないか。」という二人の言葉を聞いたジュンは、どんなことを思ったのでしょうか。 ○夏休みの自由研究を通して、ジュンはどんなことを学んだのでしょうか。 ○自由だからこそ大切にしたい責任には、どのようなものがあるのでしょうか。 ○今日の学習を通して、学んだこと、感じたこと、考えたことを発表しましょう。	☆自律的に判断し、責任をもって行動することの大切さを実感し、それをやり遂げることが大きな自信につながることに気づいたか。(発言・話し合いの様子) ☆「自由」「責任」に対する多様な考えに触れることで、自律的に判断した自由な生活のよさに気づいたか。(道徳ノート)	社会
	12	母さんの歌	D	感動、畏敬の念	清らかな心	非情な戦災の中でも見知らぬ坊やに無私の愛情を注いだ女学生を通して、人の心の崇高さに気づき、より深く人間としての在り方を考えようとする心情を育てる。	○「清らかな心」について、考えてみましょう。 ○「いいな、いいな、母さんの歌は……。」と言うくすきは、どんな気持ちでしょうか。 ○迷子になった坊やを見つけた女学生は、どんな気持ちや思いを抱いたのでしょうか。 ○女学生は、どんな思いで坊やを抱き続けたのでしょうか。 ○「今でもあの歌が、聞こえてくるようだ。」と独り言を言っているくすきは、どんなことを思っているのでしょうか。 ○人間の心に感動した経験を発表しましょう。 ○今日の学習で学んだこと、感じたこと、考えたことをまとめよう。	☆坊やのために母さんの心になった女学生の無私の愛(清らかな心)から、清らかな心や崇高な気持ちについて考えているか。(発言) ☆人間の心に感動した経験を思い出しているか。(発言)	社会
13	和太鼓調べ	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	わが町のほこりと伝統	文化や伝統には、それを引き継ぎ、守ってきた先人の努力や誇りに気づき、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、継承、発展させていこうとする心情を育てる。	○地域で昔から大切にしているものについて、知っていることを発表しましょう。 ○佳代はどんな思いから、和太鼓を調べることにしたのでしょうか。 ○和太鼓作りの見学の前とあとでは、佳代の心にどんな変化が生まれたのでしょうか。 ○佳代は、見学に来る前の自分の考えを恥ずかしく思いましたが、どんなことを恥ずかしく思ったのでしょうか。 ○日本の太鼓にこんなすばらしいところがあることをどう思いますか。 ○文化や伝統を大切に守り続けることのよさは、どんなことでしょうか。 ○地域の人で、伝統や文化に関わっている人を紹介する。	☆佳代たちの言葉から、受け継がれている伝統を引き継ぎ、発展させていこうとする気持ちについて考えているか。(道徳ノート) ☆文化や伝統を守ることは、よいものを残し、思いをつなげていくことであることについて考えているか。(道徳ノート)	音楽	

令和6年度版「小学道徳 生きる力」年間指導計画案5年

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	評価の視点 (具体的な見取りのポイント)	他教科等との関連
9月	ことばのカタチ	A 個性の伸長	よさを生かす	個性は、他人と比べるものではなく、自分の可能性を信じ、努力やチャレンジなど自分を磨き続けることで生まれ伸びていくことを理解し、自己を高めようとするための判断力を育てる。	○「あなたらしさって？」と問われたら、あなたは何と答えますか。 ○どんな思いから、ユキは「姉と手話で会話しているところを見られたくない」と言っているのでしょうか。 ○姉の姿に視線がぎくぎくしているユキは、どんなことを考えたのでしょうか。 ○姉としっかり目を合わせて手話で注文しているユキは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○自分の個性や自分らしさを伸ばしていくために大切なことは、どのようなことでしょうか。 ○教師自身も「個性の伸長」に関して現在取り組んでいることなどを語る。	☆自分にできることを精一杯している姉を見て、ユキが気づいたことについて考えを深めているか。(発言) ☆自分の個性と向き合い、それを伸ばすための視点を考えているか。(道徳ノート・発言)	
	のりづけされた詩	A 正直、誠実	自分にせいじつに	うそやごまかしている自分を許せないと感じる自分が自分自身に対する誠実さであることを理解し、誠実に明るく生きていくことを育てる。	○正直にすることの「よさ」とは、どんなところにあると思いますか。 ○和枝が本に載っている詩を書き写してしまっただけで、どのような気持ちからか。 ○「いい詩ね。」「いい題名だね。」と言われたとき、和枝はどのような気持ちになったでしょうか。 ○どんな思いから、和枝は自分のしたことを先生に打ち明けたのでしょうか。 ○自分にも相手にしても誠実にしてよかったことを発表しましょう。 ○教師が子どもの頃、誠実にできなかった、今でも忘れられないことを話す。	☆和枝の気持ちを考えることを通して、誠実に行動することのすがすがしさについて考えていたか。(発言) ☆自分にも相手にしても誠実にしてよかった経験を振り返り、誠実な行動について考えを深めているか。(道徳ノート)	総合
	真由、班長になる	C よりよい学校生活、集団生活の充実	集団生活のじゅうじつ	集団で活動するときにはメンバー全員が気持ちよく活動できるように一人一人が考えて行動することが大切であることに気づき、集団生活を充実させようとする態度を育てる。	○集団で活動することの大切さと、難しさとは、どんなところにあるでしょうか。 ○気まぐれだったウォークラリー後の「自分を見つめる時間」に、真由や健人はどんなことを考えているでしょうか。 ○顕微鏡を美菜に譲るようにと健人に話し掛けている真由は、どんなことを考えているでしょうか。 ○班のみんなから「代わってやれよ」と声を掛けられ、しぶしぶ美菜と替わろうとしている健人は、どんなことを考えているでしょうか。 ○みんなに褒められて恥ずかしく笑う美菜を見て、真由や班のメンバーはどう思っているでしょうか。 ○みんなが気持ちよく集団生活をするために、大切にしたい心構えについて話し合いましょう。 ○集団活動で体験した役割や喜びについて話す。	☆集団生活の充実のために取り組んだ真由や仲間の思いに寄り添い、どのような心構えをもつことが集団生活の充実を図るために大切かを考えているか。(道徳ノート・発言・態度) ☆さまざまな集団の中での自分の役割を自覚して、集団生活の充実を高めようとする意欲を深めているか。(発言・態度)	
10月	名前のない手紙	C 公正、公平、社会正義	正義の実現	いじめや仲間外れは、集団の一人一人が自覚と勇気をもってなくしていくみんなの問題であることと理解し、みんなで力を合わせて公正、公平に行動しようとするための判断力を育てる。	○勇気をもって正義を実現することについて、考えましょう。 ○仲間外れにされた「わたし」は、どんな気持ちになったでしょうか。 ○手紙を書いた子は、どんな気持ちで手紙を書いたのでしょうか。 ○吉野さんはどんなことを考えて、みんなの前で発言しようとしたのでしょうか。 ○吉野さんの発言を聞いたみんなは、どんなことを考えたのでしょうか。 ○集団や社会の中で正義を実現するには、どんなことが大切でしょうか。 ○教師が、正義を実現できなかった話をする。	☆正義の実現のために、一人一人が勇気を出し、行動していくことについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆難しいけれど、公正、公平な態度を大切にしようとする心構えを深めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
	折れたタワー	B 相互理解、寛容	広い心	誰にも失敗はあり、一方的に責めるのではなく広い心をもって許し合うことが、よりよい人間関係を築くことになることを理解し、相手の立場になって広い心で生活しようとするための判断力を育てる。	○「誰だって失敗することはあるよ」というように、友達を許した経験を発表しましょう。 ○「ごめん。」と謝っても、のりおが許してくれそうもなかったとき、ひろしはどんな気持ちになったでしょうか。 ○うづむいたままののりおを見て、ひろしはどんなことを考えていたのでしょうか。 ○のりおを許すことができたのは、ひろしの中にどんな思いがあったからでしょうか。 ○相手が「失敗した、ごめんなさい。」と言ったときに、許したことにどんなことがあるか、どうして許したのか、思い出してみよう。 ○相手の立場になって、悔しくても相手を許したことで、相手と良好な関係を築くことにつながった体験を語る。	☆誰にでも失敗があることを許し、相手の過ちを許そうとするひろしの思いを捉え、よりよい人間関係を築くことができたことについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆自分の許してもらった体験から、過ちを広い心で許すことの大切さについて考えているか。(発言・態度)	
	住みよいマンション	C 規則の尊重	おたがいのけんり	それぞれに権利があり、その実現のためにそれぞれが義務を果たすことで集団や社会がよりよいものになることを理解し、自他の権利を大切に自らの義務を果たそうとする意欲を高める。	○あなたが住んでいる地域には、何かきまりはありますか。 ○「静かな生活をするけんりがある。」「ピアノをひくけんりがある。」との両者の主張を聞いて、岡さんはどう思ったのでしょうか。 ○ピアノを弾く家の人が、まじめに対応し、どうしたらよいのか考えたのはどのような思いからでしょうか。 ○騒音トラブルが解決したとき、岡さんはどんなことを発見したのでしょうか。 ○権利を主張するとき、どんなことに気をつけなければいけません。 ○学校において、みんなが気持ちよく生活できるように行動している児童の事例を紹介する。	☆自分の権利ばかり主張せず、相手の権利も考えながら、みんながよりよい集団を作ろうと考える大切さについて考えているか。(発言) ☆自他の権利を大切に、自らの義務を果たしていくことの大切さを、自己との関わりの中で考えることができたか。(道徳ノート)	特活 (学級活動)
	ヘレンと共に アニー・サリバン	A 希望と勇気、努力と強い意志	信念をもって	自分の決めた目標への強い信念と、困難に妥協してしまう自分の弱さに打ち克つ根気強さが、目標を実現へと導くことに気づき、目標や信念をもち、困難を乗り越えようとする心構えを育てる。	○アニー・サリバンとは、どんな人でしょうか。 ○アニーは、どんな思いで、ヘレンへの指導をしたのでしょうか。 ○周りに「きびしすぎる。」と非難されても、くじけなかったアニーの気持ちや思いを考えてみましょう。 ○井戸端で、ヘレンが「WATER」とアニーの手のひらに書いたとき、アニーはどんな思いで、ヘレンを抱きかかっていたのでしょうか。 ○くじけずに物事をやり抜くためには、どんな思いや考えをもつことが大切なのでしょうか。 ○今日の学習で学んだこと、感じたこと、考えたことをまとめましょう。	☆たとえ困難なことであっても根気強く取り組むことが、目標を実現していくことについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆より高い目標を立てて、困難があってもくじけずに努力しようとする意欲を高めているか。(道徳ノート)	
	父の仕事	C 勤労、公共の精神	働くということ	働くことは収入を得るだけでなく、社会の一人として社会を支える役目があり、そこには充実感と責任、使命があることを理解し、集団や社会のために役立とうとする意欲を育てる。	○「働くことの意味」について考えましょう。 ○「働く」ということについて、今日の学習を通して学んだことはどんなことでしょうか。 ○自分の仕事に責任と誇りをもっている人の話をする。(教師自身のことでも構わない。)	☆働くことの意味やそれに伴う責任と充実感について考えることができたか。(道徳ノート・発言) ☆「働く」ことの意味、意義について、身近な人や自分が当てはめながら考えることができたか。(道徳ノート・発言)	総合
11月	流行おくれ	A 節度、節制	自制する心	自分の欲求に流され、先を見通さずに生活するのは、一時の感情であるため、あとで後悔しやすいことに気づき、節度を守り節制に心掛けようとする意欲を育てる。	○「みんな持っているから」という理由で、欲しかった経験はありませんか。 ○「あなたは、洋服を何着も持っているでしょう。」と母に言われたまゆみは、どんな気持ちで荒々しく部屋へ駆け上がったのでしょうか。 ○「友達から借りてきたたいせつなものなんだ。」と部屋を出た、わたるの言葉をまゆみはどう受け止めたのでしょうか。 ○言い過ぎたかなと思いつつ、自分の部屋を見直すまゆみは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○あとから考えて、我慢してよかったことはありますか。 ○自分が我慢をしなければならなかったことで、後悔した話をする。	☆自分の部屋を見直したまゆみの思いから、一時の感情で行動することの後悔について考えているか。(道徳ノート) ☆自分の欲求を抑えて我慢した経験を想起し、これからは節度を守り、節制に心掛けようとする意欲を高めているか。(道徳ノート)	
	家族のために	C 家族愛、家庭生活の充実	家族の一員として	家族は、家族みんなの幸せを考え、みんなで仕事を分担し、協力して家庭生活を維持していることを理解し、家族の幸せのために進んで役立とうとする意欲を育てる。	○家族の一員として、頑張っていることはどんなことですか。 ○「なんで、わたしばかりこんな目に……。」「髪をタオルで拭きながら、アキはどんなことを思っていたのでしょうか。 ○言葉に詰まってしまったアキは、どんなことに気づいたのでしょうか。 ○お弁当箱を洗い始めたアキは、どんなことを考えているのでしょうか。 ○家族の幸せを考えて、これからどんなふうに関わりたいですか。 ○家族をテーマにした詩や歌詞などを朗読する。	☆家族のために進んで自分ができることを行い、助け合っていくことが大切であることを考えているか。(発言) ☆家族のために自分ができることを具体的に表現しているか。(道徳ノート)	家庭
	命の種を植えた 一緒方洪庵	D 生命の尊さ	生命の重み	生命は、生命そのものがかけがえのない、唯一無二のものであり、その生命を守るために並々ならぬ多くの人の努力があることを理解し、生命を尊重しようとする心構えを育てる。	○命の大切さをどんなときに感じますか。 ○洪庵は京都の医師に、量に額をすりつけるようにしてお願いをしたとき、どんな気持ちだったのでしょうか。 ○洪庵が「種痘をすれば助かる命がある。」と諦めずに訴え続けたのは、どんな思いからでしょうか。 ○種痘を受ける人や種痘の技術を習いたいという医師が大勢訪れるようになったとき、洪庵はどんな思いだったのでしょうか。 ○命を守るための活動をしている人の紹介をする。	☆大切な、かけがえのない生命を守るためには、並々ならぬ努力があったことについて考えているか。(発言) ☆生命の大切さを、自分の身近な人々や出来事を思い浮かべながら考えようとしているか。(道徳ノート・発言)	体育
12月	うばわれた自由	A 善悪の判断、自律、自由と責任	自由とは	わがまま勝手は、自分のわがまま勝手な心に振り回され、自由とは違うことや、自由だからこそ自分に責任が伴うことを理解し、自分でよく考え責任ある行動をとろうとするための判断力を育てる。	○あなたが考える「自由」とは、どのようなものですか。 ○森の番人ガリユーに「……わがままというものです。」と言われたとき、ジェラルール王子は、どう思ったのでしょうか。 ○国王となり、わがまま放題がひどくなったことで裏切られてしまったジェラルール王は、どんなことを考えたのでしょうか。 ○牢屋で再会したジェラルール王とガリユーは、どのような話をしたのでしょうか。 ○「ほんとうの自由をたいせつに」というガリユーの言葉を聞いて、ジェラルール王はどんなことを考えたのでしょうか。 ○学習を通して、自由とは、どのようなものだと思いますか。 ○自由ということについての話を聞かせます。 【参考指導案】 ○「自由」に行動して楽しかったこと、逆に困ったことを紹介してください。 ○「うらさ！ 王子に逆らうとは無礼なやつ。こいつをしぼり上げろ！」と叫ぶジェラルールは、どんな思いだったのでしょうか。 ○「もう手おくれじゃのう」と涙を流すジェラルール王は、どんな思いだったのでしょうか。 ○「ほんとうの自由をたいせつに」というガリユーの言葉を聞いて、ジェラルール王はどんなことを考えたのでしょうか。 ○学習を通して、自由とは、どのようなものだと思いますか。 ○自由ということについての話を聞かせます。	☆ジェラルール王の気持ちを考えることを通して、自由について考えているか。(道徳ノート・発言) ☆自由とは、「自律的」な自由であり、責任や義務が伴うものであることについて考えているか。(道徳ノート) ☆ジェラルール王の気持ちを考えることを通して、自由について多面的に考えを深めているか。(道徳ノート・発言) ☆自由とは、自律的・責任が伴うものであることについて考えを深めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学校行事)
	くずれ落ちた だんボール箱	B 親切、思いやり	親切な思い	親切・思いやりは、相手に認めてもらいたい心ではなく、一心に相手のために自分自身にできることをしようとする心から生まれることに気づき、思いやりの心で親切にしようとする心構えを育てる。	○人に親切にされてよかったと思った経験を発表しましょう。 ○二人は、どんな気持ちからおばあさんを助けることにしたのでしょうか。 ○「こまった子だね。」と店員に注意された二人は、どんなことを考えたのでしょうか。 ○注意されたことを、戻ってきたおばあさんに伝えなかったのは、「わたし」のどんな思いからでしょうか。 ○式で手紙を読んでもらえたとき、「わたし」はどんな気持ちになったのでしょうか。 ○親切、思いやりとは、どんな心なんでしょう。 ○親切で見つけた児童の思いやりのある行動について話す。	☆「わたし」のおばあさんに心配を掛けたくないという、相手の立場になった思いやりの心を貫く気持ちに気づけたか。(発言) ☆周りにどう思われようとも、相手の気持ちだけでなく、立場をも思いやった行為について、自分の経験も振り返りながら考えたか。(道徳ノート)	
	ミスター・トルネード 藤田哲也	A 真理の探究	真理を明らかに	人々の生活をよりよくするために竜巻の研究に進んで取り組んだ藤田哲也の姿から、真理を見つけたときの喜びを理解し、物事を探究していこうとする心構えを育てる。	○ミスター・トルネード 藤田哲也さんを知っていますか。 ○藤田さんは、どんな思いから、「だれも知らない竜巻のしくみを調べてみよう」と思い立ったのでしょうか。 ○「藤田はまちがっている」と厳しく批判されたり、たくさんの気象学者から批判されて眠れない日々が続いたりしたときの藤田さんは、どんな思いだったのでしょうか。 ○世界のみんなから「藤田の研究のおかげ」と言われるようになったときの藤田さんの気持ちや思いを考えてみましょう。 ○わからないことをわかってもらう思いを支えているものはどんな心なんでしょう。 ○自分の生活の中で、わからないことをわかってもらうことを発表しましょう。 ○真理を見つけたよとした偉人の話をする。	☆真理を求め続けることの難しさとすばらしさについて考えているか。(発言) ☆真理を求めたいという気持ちを高めているか。(道徳ノート)	理科

令和6年度版「小学道徳 生きる力」年間指導計画案5年

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	評価の視点 (具体的な見取りのポイント)	他教科等との関連
1月	28 森の絵	C よりよい学校生活、 集団生活の充実	集団の一員 として	集団のメンバーにはさまざまな役割があり、一人一人が一員としての自覚をもってやり遂げることで集団が成り立つことを理解し、学校や学級などの集団の一員として行動しようとする態度を育てる。	○「自分」と「集団」の関係について考えましょう。 ○えり子は、どんなことを考えて、道具係を選んだのでしょうか。 ○文男の後ろ姿を見て、そっとドアを閉めたえり子は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○ポスターカラーを皿に溶いているときのえり子は、どんな思いだったのでしょうか。 ○はじめのえり子と、どこが変わったのでしょうか。 ○集団をよりよいものにするために、あなたができることは何でしょうか。 ○小学生のとき学習発表会などで、学級のみならずそれぞれの役割を自覚し、責任を果たした教師の体験などを話す。	☆黙々と自分に任された役割をこなしている文男の後ろ姿を見て、集団の一員として自らの役割を果たそうと考え始めたえり子の思いについて考えているか。(発言) ☆学校や学級などの集団の一員として、役割の自覚と責任を果たすことの意義について、自分の経験を振り返りながら考えることができたか。(道徳ノート)	特活 (学級活動)
	29 「ありがとう」がつながる	B 感謝	つながる感謝	日々の生活が多くの人の支え合いや助け合いなどのつながりによって成り立っていることに感謝し、自分もまたそのつながりの中で応えていこうとする意欲を育てる。	○「『ありがとう』がつながる」という言葉からどんなことをイメージしますか。 ○あかりはどんな思いから、「お水、乗せていきましょうか。」とおばあさんに声をかけたのでしょうか。 ○あかりはどんな思いから、「お手伝いに行ってくる！」と言ったのでしょうか。 ○あかりは、お兄さんが水と一緒にどんなものを運んでくれたと思ったのでしょうか。 ○「ありがとう」がつながると感じたあかりは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○あなたの生活の中で、どうしたら「ありがとう」の気持ちがつながっていくでしょうか。 ○教師が、心から感謝の気持ちをもった経験を話す。	☆感謝の気持ちをもち、それを誰かのためにすることに結びつけるよさについて考えているか。(発言) ☆自分が感謝すべき人、事柄を見つけ、それに応える行動について考えているか。(道徳ノート・発言)	社会
2月	30 マイツからの便り	C 国際理解、国際親善	日本から世界へ	異なる文化や考え方の人間が共に生きていくためには、まず自分や他の国の文化の理解が大切であることに気づき、積極的に交流を図り、国際親善に努めようとする心性を育てる。	○世界に伝えたい日本のよさに、どんなものがありますか。 ○「わたし」が第一回めの紹介者として、とっさに手を挙げたのは、どんな気持ちからだったのでしょうか。 ○第一回めに自分の国や文化の紹介をするようになった「わたし」は、どんな思いで1週間を過ごしたのでしょうか。 ○和服でパーティーに出席し、交友の輪を広げることができた「わたし」は、どんなことが大切だと考えたのでしょうか。 ○外国の人たちと交流したことはありますか。そのとき、どんな思いで交流したのでしょうか。 ○世界を舞台に活躍する日本人、あるいは、国を離れて日本で活躍する外国人などが大切にしていることを、エピソードを通して、紹介する。	☆自分の国の文化を肯定的に捉えることは、他の国との文化の違いを認め合うことにつながることに気づいているか。(道徳ノート・発言) ☆交流を深めるために、自ら積極的に行動しようという意欲を高めているか。(発言)	総合
	31 すれちがい	B 相互理解、寛容	相手の立場を理解する	自分と相手は見方や考え方が違うこと、一方的な見方だけでは物事の本質は見えず対立を生じしてしまうことを理解し、自分と異なる意見や立場を理解し、尊重しようとする態度を育てる。	○相手をなかなか許せず、悩んだことはありませんか。 ○二人の心の距離について考えてみましょう。 ○このあと二人がすれ違いを乗り越えるにはどうすればよいか、二人一組で、よし子役、えり子役になって話し合ってみましょう。 ○よし子とえり子が、元のように仲よくするには、どのような思いを大切にしていけばよいでしょうか。 ○広い心で相手の立場を大切に、受け入れるには、どのような考えや思いをもてばよいでしょうか。 ○誰でも本当は、人とよい関係を築きたいと願っているのだという教師の話聞かせ。 【参考指導案】 ○相手をなかなか許せず、悩んだことはありませんか。 ○二人に足りなかったのはどのような気持ちや思い、考えなのか、考えてみましょう。 ○よし子とえり子が、元のように仲よくするには、どのような思いを大切にしていけばよいでしょうか。 ○広い心で相手の立場を大切に、受け入れるためには、どのような考えや思いをもてばよいでしょうか。 ○誰でも本当は、人とよい関係を築きたいと願っているのだという教師の話聞かせ。	☆相手の立場を考えられる広い心をもつことの大切さを考えているか。(発言) ☆自分と異なる人の意見や立場を受け入れようと、ふだんの生活を振り返り考えているか。(道徳ノート・発言)	
	32 知らない間のできごと	B 友情、信頼	よりよい しんらい関係	友達を自分の視点だけで見るのではなく、相手を正しく理解し、自分の思いをきちんと伝えることがよりよい友達関係を築くことを理解し、信頼し合い、友情を深めていこうとする態度を育てる。	○どんなときに友達のありがたさを感じますか。 ○次の日、根も葉もないことがメールで回っているのを知ったあゆみは、どんなことを考えたでしょうか。 ○みかとは、メールの内容を聞いたとき、どんなことを考えたでしょうか。 ○みかとはあゆみは電話でどんなやりとりをしたでしょうか。 ○友達との関係で、どんなことを大切にしていますか。 ○よりよい友達関係を築くために、教師が心掛けていることを語る。 【参考指導案】 ○(p.153「心のベンチ」の)このメッセージから、どんなことを感じますか。 ○次の日、根も葉もないことがメールで回っているのを知ったあゆみは、どんなことを考えたでしょうか。 ○みかとは、メールの内容を聞いたとき、どんなことを考えたでしょうか。 ○みかとはあゆみは電話でどんなやりとりをしたでしょうか。 ○あなたがこうき、はるかならどのように返しますか。 ○どんなことを考えて返しましたか。 ○よりよい友達関係を築くために、教師が心掛けていることを語る。	☆よりよい友達関係を築くためには互いに理解し合うことや、自分の思いをきちんと伝えることが大切であることに気づいているか。(道徳ノート・発言) ☆「よりよい友達関係」について、自分を振り返って考えているか。(道徳ノート・発言)	
	33 ながらって……	A 節度、節制	周りの人とも 安全に	先を見通したり、周りの人や状況を考えて自らの生活を振り返り、改善しようとする安全な生活につながることを理解し、節度ある生活をしようとするための判断力を育てる。	○「ながらスマホ」をしている人を見て、「あっ、あぶない」と思ったことはありませんか。 ○ゆかとまいが調べた「ながらスマホ」に関する事故について、どう思いますか。 ○「ながらスマホ」がやめられないのは、どんな気持ちがあるからでしょうか。 ○自分の生活の中には、どのような危険が隠れているのでしょうか。安全に暮らすにはどのようなことを心掛ければよいのでしょうか。 ○最近の新聞記事などで、小・中学生が巻き込まれた事件について紹介する。	☆いけないとわかっていても、「これくらいは大丈夫」と自分のことを優先する気持ち、周りの人のことをあまり考えない気持ちがあることに気づいているか。(発言) ☆身の回りにおける危険を想起し、危険を避け、節度を保ちながら安全に暮らそうとする気持ちが高まっているか。(道徳ノート)	
3月	34 これって不公平?	C 公正、公平、社会正義	公平と不公平	集団の一人一人が不合理や排除に遭わず自分の思いが尊重されているか、集団としての配慮があるかが公正・公平の視点であることを理解し、みんなで正義の実現に努めるための判断力を育てる。	○「公平」と「不公平」について考えましょう。 ○①～④それぞれの場面について、「公平」か「不公平」かを考え、その理由について話し合ってみましょう。 ○4つの場面で話し合ったことを通して、公平に判断するために大切な思いや気持ちについて考えてみましょう。 ○「不公平」は、どうしていけないのでしょうか。 ○教師自身の公正、公平に関わった体験について話をします。 【参考指導案】 ○第①場面から第④場面において、「公平」と「不公平」のどちらだと思うかと、その理由を書きましょう。 ○グループごとに第①場面から第④場面まで「公平」か「不公平」かを表明し、その理由について話し合ってみましょう。 ○グループに1人残り、3人は他のグループに移動しましょう。1回目と同じように、公平か不公平かを話し合ってみましょう。 ○最初のグループに戻り、公平か不公平かについて道徳ノートに振り返りましょう。 ○道徳ノートに書いたことをもとに、今日の授業を通して学んだことを聴き合ってみましょう。	☆「公平と不公平」について、集団の中の仲間や一員としての視点から考えているか。(発言・態度) ☆「公平と不公平」に関わり、自分が日々心掛けていることを考えているか。(道徳ノート・発言) ☆「公平と不公平」について、自他の考えを比較し、集団の仲間や一員としての視点から考えているか。(発言・態度) ☆「公平と不公平」に関わり、自分が日々心掛けていたことを思い出し、これまでの「公平と不公平」の捉え方と比べて考えているか。(道徳ノート・発言)	国語 特活 (学級活動)
	35 かげのでんわ	D よりよく生きる喜び	よりよく生きる 喜び	みんなの思いが届いたと叫ぶくまのおじいさんの思いや気持ちを通して、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人として生きることの喜びを感じようとする心性を育てる。	○あなたは、「よりよく生きる」とはどんなことだと思いますか。 ○このような電話が実際に岩手県大槌町にあります。東日本大震災にまつわるお話です。 ○みんな(たぬきのぼうや、うさぎのおかあさん、きつねのおとうさん、ねこさん)はどんな思いをもって電話を掛けて山に登っているのでしょうか。 ○電話を掛け終わったみんなは、どんな気持ちになって山を下りていくのでしょうか。 ○くまのおじいさんが叫んだ「それにといた『みんなのおい』」とはどんな思いなのでしょう。 ○「よりよく生きる」ということについて、自分の意見や考えをまとめてみましょう。 ○よりよく生きようとする前向きな話を紹介する。	☆悲しみばかりに陥らず、積極的に前を向いて一生懸命に生きようとする大切さについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方について考え、自分なりに人間として生きる喜びを感じているか。(道徳ノート)	
ふろく	① 美しい夢 ーゆめびりかー	C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する 態度	ふるさとの ほこり	自分たちの郷土を誇りをもてる場所にするために懸命に努力している人がいることを知り、受け継がれている地域の伝統や文化を、自分も大切にしようとする心性を育てる。	○「ゆめびりか」という名前のお米を知っていますか。 ○米作りには向いていない北海道の人が、いいお米を作りたいのはどんな気持ちからでしょうか。 ○失敗を繰り返しながら、諦めることなく何年間も品種改良に取り組んだのは、どんな思いがあったからでしょうか。 ○雪深い旭川市でも最高ランクのお米が作れたことを知った北海道の人は、どんな気持ちになったのでしょうか。 ○私たちが誇れる地域のよさにはどんなものがあるのでしょうか。 ○先生の「お国自慢」を話します。	☆郷土の先人たちが努力した思いや願いについて、自分ごととして受け止めることができたか。(発言・話し合いの様子) ☆自分自身の地域のよさを話し合うことで、多様な視点から、自分たちが誇れる地域のよさを考えているか。(発言・話し合いの様子)	社会
	② 友のしょうぞう画	B 友情、信頼	友情を深める	友達として相手を信じることや理解しようとする友誼が、自分たちならではの友情を育てていくことを理解し、よりよい友達関係を築こうとする心性を育てる。	○あなたにとって大切な友達とは、どんな友達ですか。 ○「ぼく、きつと、手紙書くよ。」と言って九州へ出発する正一を見送る「ぼく」は、どのような気持ちだったのでしょうか。 ○正一から手紙が来なくなったとき、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。 ○正一の作品「友のしょうぞう画」と解説を見て、涙を流している「ぼく」は、どんなことを思っているのでしょうか。 ○帰りの電車の中で、「帰ったらすぐに手紙を書こう。」と決めた和也は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○友情をさらに深めるために大切なことは何でしょうか。 ○教師が、友達を信じ理解したことで、よりよい友達関係を築いた体験を話す。	☆「ぼく」の心情から、友達を信じることや理解しようとする大切さについて考えているか。(発言) ☆友情には「相手を信じること」「相手を理解しようとする」ということが必要であるということについて自分の経験も思い出しながら考えているか。(道徳ノート)	特活 (学級活動)
	③ ペルーは泣いている	C 国際理解、国際親善	世界の人々と 共に	自らが積極的に心を開き、他国の人々の考え方や文化を理解しながら接していくことによって、日本人としての自覚をもって、国際親善に努めようとする心性を育てる。	○外国の人と触れ合ったとき、どんな気持ちになりますか。 ○何人かの選手が練習に耐えられなくなり、辞めていったとき、アキラはどんなことを考えたのでしょうか。 ○「上を向いて歩こう」をペルーの選手たちが歌っているとき、アキラはどんな思いだったのでしょうか。 ○ペルーの人たちは、どんな思いでアキラの名前をつけた学校を建てたのでしょうか。 ○世界の人々と交流するために、どんな思いで接することが大切でしょうか。 ○国際理解、国際親善に力を尽くした先人の話を紹介する。	☆国は違っても、相手を理解しようとする思い、気持ちは通じ合うということについて考えているか。(発言) ☆自分との関わりの中で、国際親善に努めることの大切さについて考えを深めているか。(道徳ノート・発言)	社会 総合